

# 令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	1	年	
教科	音楽	科目	音楽		単位数 1.5
担当者	全組	中野 恭子			
教科書	中学生の音楽1/中学生の器楽(教育芸術社)		副教材		

## ○学習到達目標

表現(歌を歌う・演奏する・創作する)及び鑑賞(色々な音楽を聴く)の幅広い活動を通して、音楽を愛する心を育てると共に、音楽を感じ取る感覚を豊かに養い、音楽活動の基礎的な能力を伸ばしていくことが目標です。

## ○教科道徳教育到達目標

斉唱や合唱の活動を通じて、他と声を合わせて美しいハーモニーを創り上げることの喜びを知り、他を認め協調する精神や、美しいものを追求する精神を養う。

## ○学習方法

- A. 表現 ①歌唱(歌う)・・・歌うことはもっとも大切な活動で、音楽表現の基礎になるものです。発声の仕組み・呼吸と姿勢・変声期について等、歌唱の基本を身につけて自然で豊かに響く歌声を探していきます。  
②器楽(演奏する)・・・器楽はソプラノリコーダーを中心に使います。
- B. 鑑賞 ①教科書の内容にそって、日本と西洋の伝統的な音楽を鑑賞します。  
②その他、世界各地の民俗音楽を鑑賞します。
- C. 楽典 楽譜の書き方・読み方等、音符や記号の持っている意味を勉強します。

## ○グレード別授業の基準

グレード別授業は実施しません。クラスごとの授業となります。

## ○指導計画(学習内容・考查等の予定)

1学期	2学期	3学期
オリエンテーション	合唱・リコーダー 「パフ」	鑑賞 日本の民謡
合唱・リコーダー 「主人は冷たい水の中に」 「エーデルワイス」 「浜辺の歌」	「朝の風に」 「赤とんぼ」 「夕焼け小焼け」 「ふるさと」	楽典 音符・音楽用語 リズム など 強弱記号
鑑賞 「春」 第一楽章	鑑賞 「魔王」	合唱・リコーダー 心に残った曲を演奏
楽典 音符・休符	楽典 音楽用語	

※年間を通して、「実技テスト」を適宜行います。(授業時)

## ○評価方法

各学期ごとに、実技テスト・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。  
(実技テスト50% ルーブリック評価50%)

※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	評価段階				
	評価項目	A	B	C	D
知識及び技能	斉唱・合唱・リコーダーの基本的技能(実技テスト)	演奏の技能が大変優れており、極めて正確に演奏できる。 (80点以上)	演奏の基本的技能が身に付いており、概ね正確に演奏できる。 (65点以上)	演奏の基本的技能があまり身に付いていないため、正確に演奏することはできなかった。 (50点以上)	演奏の基本的技能を身につけようという気持ちがなく、誠実に演奏することができなかった。 (49点以下)
	楽典の基本的知識(実技テスト・評価シート)	正確に身に付いており、演奏にも活かされている。	概ね身に付いており、演奏に活かそうとしている。	あまり身に付いていないが、前向きに取り組んでいる。	ほとんど身に付いていないばかりか、全く身に付けようとしていない。
思考力・判断力・表現力等	表現の創意工夫(実技・自己評価シート)	創意工夫を積極的かつ効果的に取り入れている。	創意工夫を積極的に取り入れようとしている。	創意工夫はあまり感じられない。	はじめから創意工夫を取り入れようとしていない。
主体的に学習に取り組む態度	学習態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において他の生徒との協働の中心となり、全体の理解を深める役割を担う</li> <li>・発問に対して意欲的に考え、聞き手を納得させる根拠を持った発言をする</li> <li>・発言を意欲的に聞き、自分の意見と比較し、自分の考えを深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において他の生徒と協働し、意欲的に理解し合う</li> <li>・発問に対して意欲的に考え、発言する</li> <li>・発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において他の生徒と協働し、意欲的に理解し合おうとする</li> <li>・発問に対して意欲的に考え、発言しようとする</li> <li>・発言を意欲的に聞き、自分の意見を持とうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において他の生徒と協働し、意欲的に理解し合おうとしない</li> <li>・発問に対して意欲的に考え、発言しようとする</li> <li>・発言を意欲的に聞き、自分の意見を持とうとしない</li> </ul>
	授業準備	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。
	授業中	各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。